

製品名: Fe65L ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10899**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	83kDa

抗原情報

遺伝子名	APBB2
別名	APBB2; FE65L; FE65L1; Amyloid beta A4 precursor protein-binding family B member 2; Protein Fe65-like 1
遺伝子 ID	323.0
SwissProt ID	Q92870
免疫原	抗血清はヒト APBB2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 471-520

背景

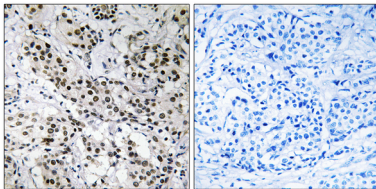
アミロイド β 前駆体タンパク質結合ファミリー B メンバー 2 (APBB2) ホモサピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質

は、アミロイド β (A β) 前駆体タンパク質およびアミロイド β (A β) 前駆体様タンパク質 2 の細胞質ドメインと相互作用する。このタンパク質は、シグナル伝達に機能すると考えられる 2 つのリン酸化チロシン結合 (PTB) ドメインを含む。この遺伝子の多型はアルツハイマー病と関連付けられている。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2009 年 10 月]、機能: アミロイド β 前駆体タンパク質の細胞内移行を調節する可能性がある。、類似性: WW ドメインを 1 つ含む。、類似性: PID ドメインを 2 つ含む。、サブユニット: アミロイド β 前駆体タンパク質の細胞内ドメインに結合する。、

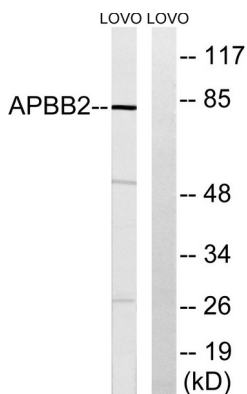
研究分野

-

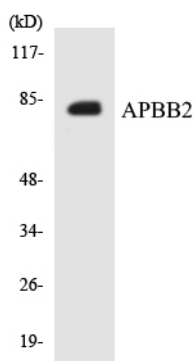
画像データ



APBB2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



APBB2 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



APBB2 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。